

福岡市
実証実験
フルサポート事業

【 Kotozna株式会社】 実施報告書

2019. 4. 23

1. 会社概要 (1/2)

【プロジェクト名】

店頭掲示QR方式 アリペイ導入推進事業

【会社名】

Kotozna株式会社

【代表者名】

後藤 玄利

【住所】

〒810-0041

福岡県福岡市中央区大名2-12-12 赤坂産業ビルディング4F

【ウェブサイト】

<http://kotozna.com/>

1. 会社概要 (2/2)

【メンバー経歴】



後藤玄利 / CEO (CO-Founder)

アクセンチュアを経て1994年株式会社ヘルシネット（後のケンコーコム株式会社）設立。20年にわたり代表を務め、2004年には東証マザーズ上場に導く。2016年10月にジャクール株式会社（現Kotozna株式会社）を設立し、代表取締役就任。東京大学教養学部基礎科学科第一卒業、シンガポール国立大学リークワンユースクール（公共政策大学院）公共マネジメント学科修了。



神尾隆昌 / CPO (Co-Founder)

1,400万ユーザーを越える20歳代女性向け写真投稿サイトとしてアジアで最も人気を誇った「Snapeee」を開発したマインドパレット社を創業・経営した起業家。国際基督教大学理学部卒業。



林慶宗 / CBDO

2004年ワークスアプリケーションズに入社し、プロジェクトマネジメントと新規プロダクト立ち上げに従事。その後HRTech系ベンチャーの取締役COOとして、事業と組織の成長にコミット。2019年より当社勤務。



畔上淳 / 取締役CFO

Fast Retailingにて、買収した海外ブランドの日本法人立上げから管理部門責任者として携わり黒字化を達成。ケンコーコムにて管理本部長を務め、Hotland(銀だこ)では経営管理本部長として上場に成功。



Matthias Hoffman / エンジニア

AIを活用した手書き文字認識の日英辞書アプリを開発。また日本への旅行者向けモバイルアプリ「Local Japan」を共同創業し、2018年に当社へ売却。ドイツにおいて、ビジネス情報学修士課程修了。



森尾公美子 / CMO

株式会社博報堂入社後、一貫して営業部門に従事。シニアアカウントディレクター、シニアマネジメントプランニングディレクターを歴任。2018年より当社勤務。聖心女子大学卒。



石川光佑 / CTO

新卒でワークスアプリケーションズ入社後、複数の企業でリードエンジニアを歴任しフルスタックに経験。その後SaaS企業のCTOに就任し、アーキテクチャ設計からチームビルディングまで掌管。2019年より当社勤務。



Iqbal Hoffman / エンジニア

ソフトウェアエンジニア、データアナリスト。14年間日本とバングラディシュでIT研究プロジェクトに従事。コンピュータサイエンスとエンジニアリング学士課程修了後、9年以上九州大学にて研究。2019年より当社勤務。

2. 実証実験の目的 (なぜ実証実験をやるのか)

【課題】

中国国内では普及しているQRコードを使った決済サービスが日本では2018年6月現在未だ普及しきっておらず、中国を始め、増え続けるインバウンド旅行者の消費活動に対応しきれていない。



【目的】

中国からインバウンド旅行者の消費活動を促進するために、中国で普及している店頭掲示QR方式のアリペイ決済を中小事業者に導入するとともに、接客・決済時の言葉を緩和しながら、福岡市内での回遊・消費を促す。

3. 実証実験の内容（フルサポ事業のゴール）

下記の指標に基づき、実証実験の成果を検証する。
また、得られたデータを活用し、消費者の動向等を分析する。

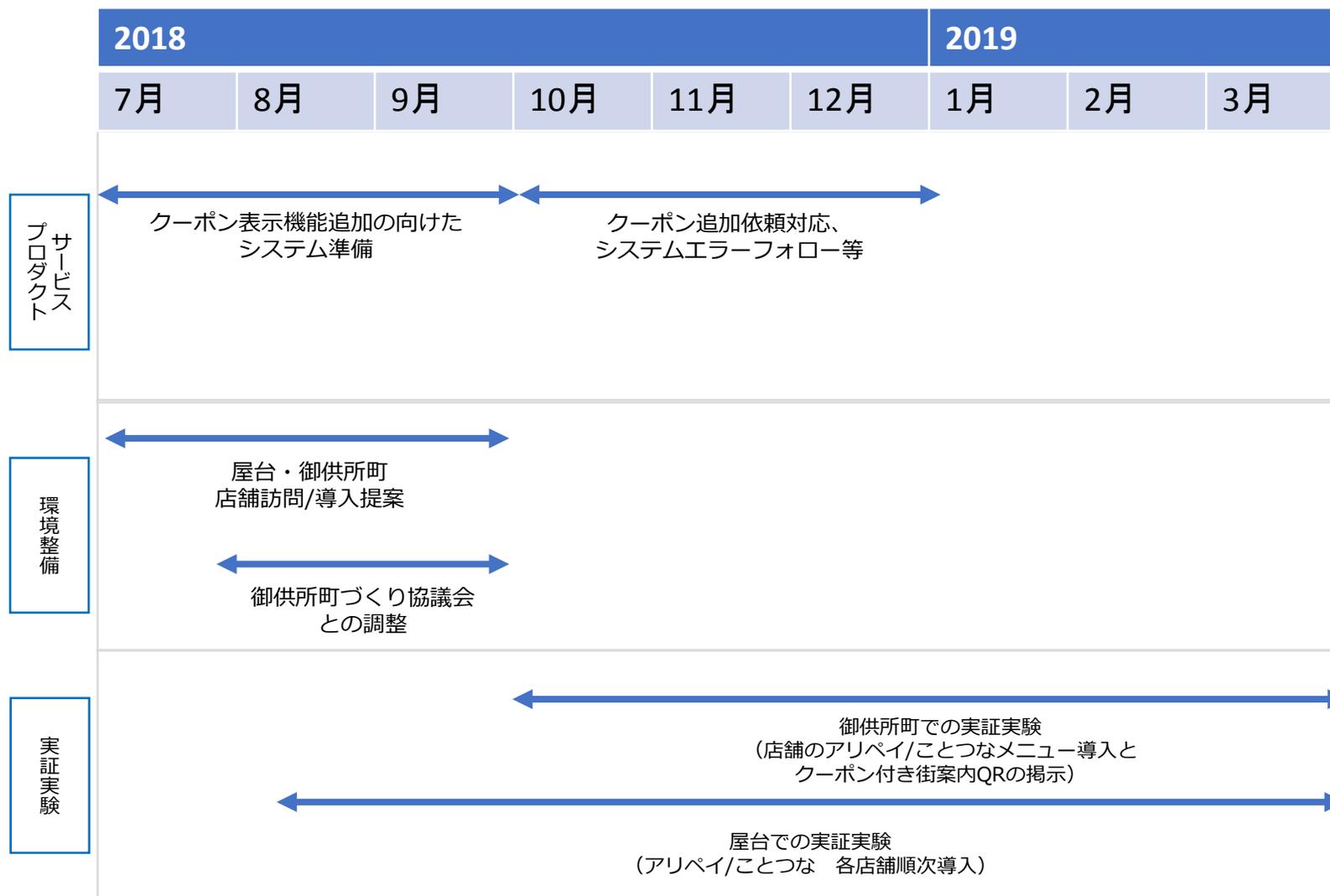
【成果指標】

- ・ アリペイQRによるキャッシュレス決済金額総額
（決済場所・1件ごとの支払い単価も提出可能）
- ・ クーポン配布枚数/利用実績
- ・ ことつなQRスキャン実績（多言語翻訳QRの読み取り回数）

【データの活用】

- ・ アリペイQRによるキャッシュレス決済金額より、
訪日観光客の消費動向を分析する
 - ・ クーポン利用実績により、回遊性/経済効果の測定を行う
 - ・ ことつなQRスキャン実績により、訪日観光客の福岡市内店舗の利用動向を
言語別に分析する
-

4. 工程表

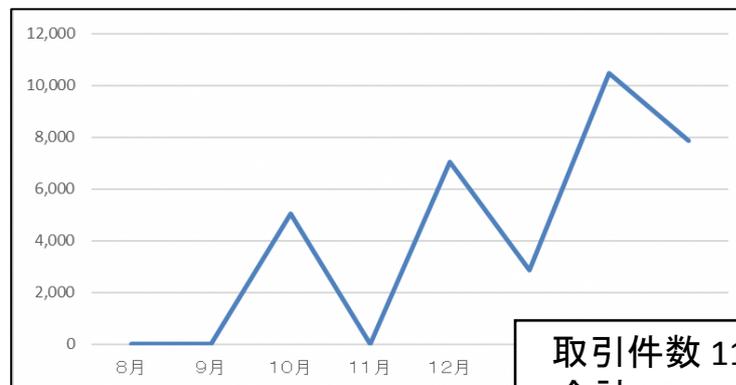


5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

<Alipay : 福岡市屋台での利用状況・推移>

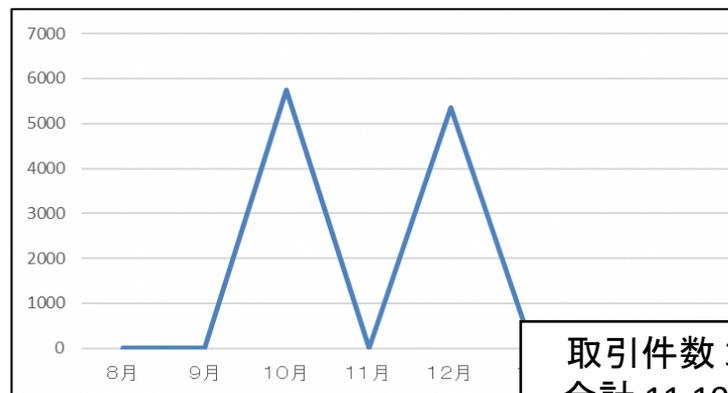


- 屋台A [2018/9/7~2019/3/31]



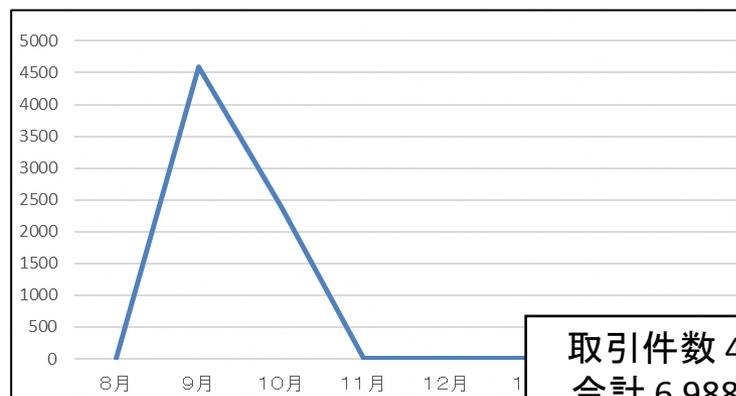
取引件数 11回
合計 33,250円

- 屋台B [2018/9/18~2019/3/31]



取引件数 3回
合計 11,100円

- 屋台C [2018/9/18~2019/3/31]

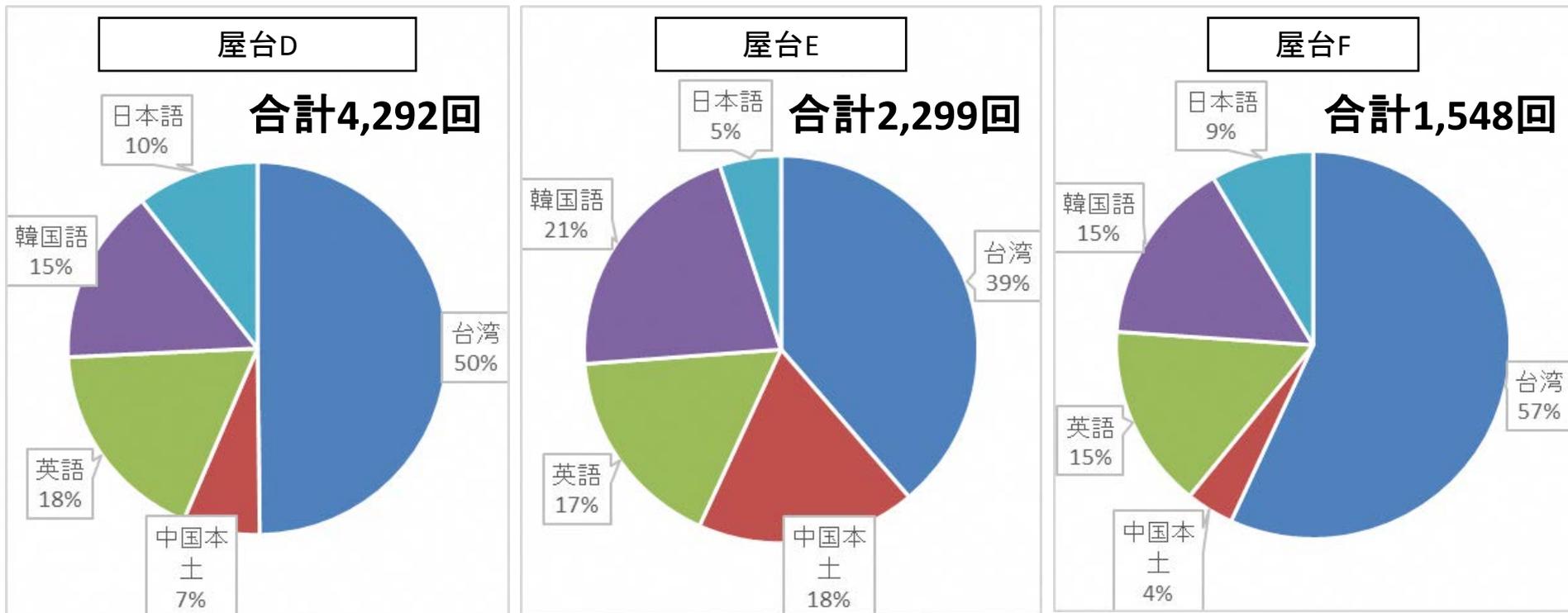


取引件数 4回
合計 6,988円

- ・中洲周辺の屋台(屋台B、C)に比べ、天神駅周辺(屋台A)では利用が増加傾向にある。
- ・10月の国慶節や年末年始、2月の春節に利用が増加。

5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

<多言語メニュー：2018/9/1～2019/3/31の上位3店舗のスクラン状況>



- 台湾
- 中国本土
- 英語
- 韓国語
- 日本語



5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

福岡市屋台 各データの分析(仮説)と課題

導入実績（約95店舗中）
◎多言語メニュー 31店舗
◎アリペイ 4店舗

・多言語メニューについて

QRコードを掲示するだけで、お客様に自由に多言語で閲覧してもらえるという利便性から導入を希望する店舗様が多数あった。

・アリペイについて

売上額が店舗に即日振り込まれないという点から、食材調達において困難があるという理由で導入を断念する店舗が多数あった。

多言語メニューを導入いただいたほとんどの店舗で、スキャン実績のほぼ半数以上が台湾語で閲覧されている。

アリペイを利用する中国本土のお客様が、他のインバウンド観光客に比べて少ない。

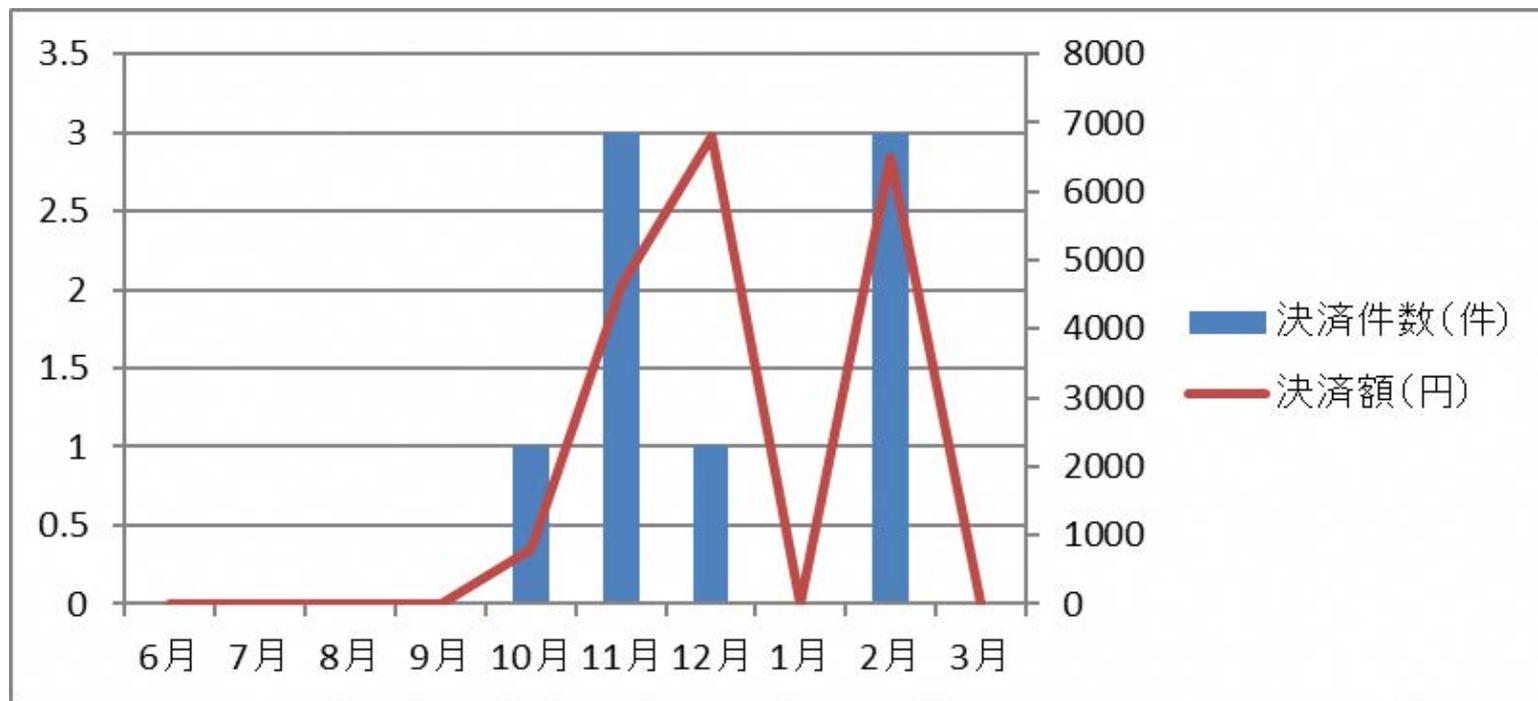
アリペイを導入いただいている一部の店舗(博多っ子 純情屋台 喜柳)では右肩上がりに利用客が増加。

母体数が少ない中でも、少しずつ「日本でアリペイが使える」認知度が増えており、利用を試みる中国人が増加しているのではないかと。

5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

<Alipay：博多旧市街での利用状況・推移>

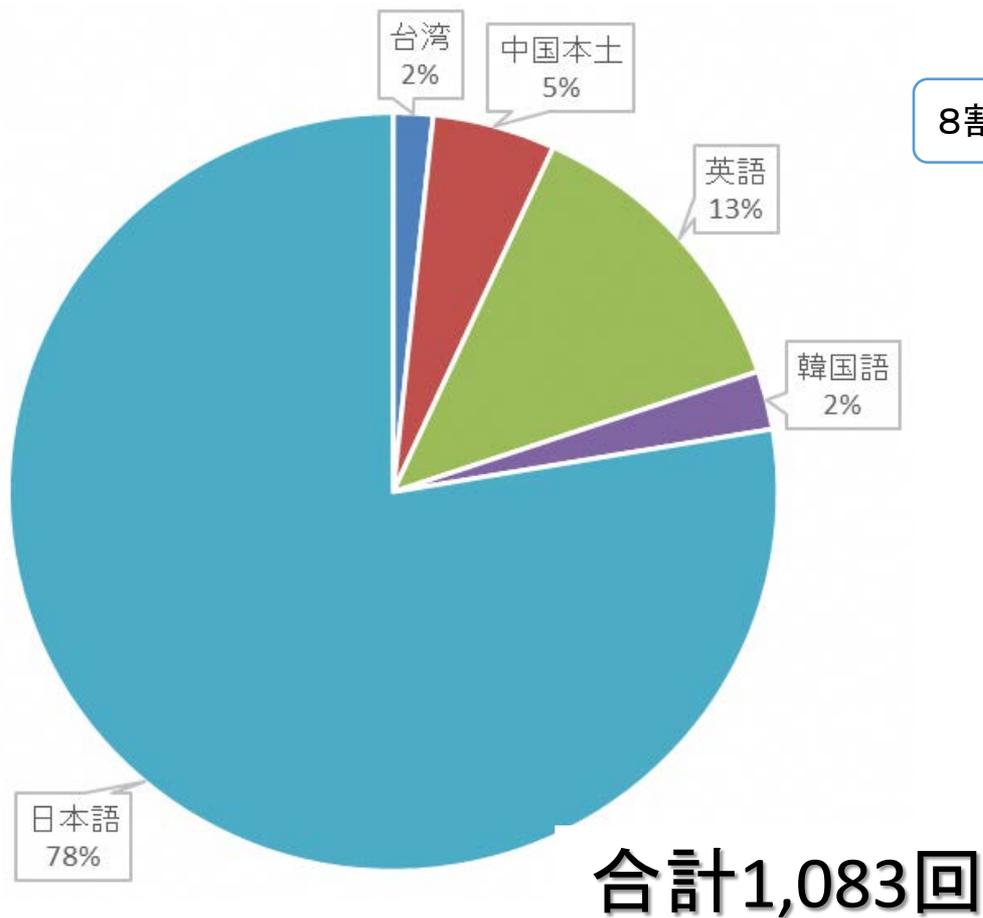
- 博多旧市街[9/1~3/31]



取引件数 8回
合計 18,730円

5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

＜街案内QR : 2018/10/12～2019/3/31のスクラン状況＞



8割が日本人による閲覧であった。



5. 実施報告（データの件数・内容, その検証・分析結果・課題）

博多旧市街（御供所町） 各データの分析（仮説）と課題

導入実績（約68店舗中）
◎多言語メニュー 24店舗
◎アリペイ 4店舗

- ・既に外国人観光客が多数訪れている屋台に比べて、外国語対応の必要性を感じている店舗があまり多くない印象であった。
- ・導入いただいた店舗は、これから先にインバウンド観光客が増加することを見越した準備としてご活用いただいている。

多言語メニュー
スキャン実績のほとんどが
日本語での閲覧。

中国本土はじめ、インバウンド観光客は博多旧市街の寺社には訪れるが、そのほとんどがツアー観光客という背景がある。周辺の飲食店への回遊を視野に入れて観光しているお客様が少ないという仮説が立てられる。

博多駅周辺や、博多旧市街の寺社をめぐっているインバウンド観光客の町内飲食店への誘導・集客が課題となる。

6. 実施結果と今後の展望

● 実施結果に基づく今後の展望

- ・福岡市屋台では、業務の効率化が課題として認識されている傾向にあり、スマートフォンを使った気軽なツール（決済, 翻訳）へのニーズは高い。

 - ⇒しかしながら、特にキャッシュレスについて、
売上金が即日振込されないという点から
ハードルが高く感じられている。

- ・博多旧市街（御供所町）では、現在インバウンド観光客があまり町内の飲食店へ回遊しないため、未だキャッシュレスや多言語対応への必要性を強く感じていない事業者様が多い。

 - ⇒今回は、クーポンページの日本人の利用が8割を占めており、
インバウンドの回遊性を高めることができなかった。
インバウンド観光客への周辺施設の周知及び集客という課題を
解決できるようなツールが必要だと感じた。